

# ふれあい



第21号

平成 28 年 3 月 18 日  
十日町市身体障がい者福祉センター

(今回の題字は渡部三恵子さんです)

平成 27 年度は、関谷センター長、貴田主任が就任し、新体制でスタートしましたが早いもので一年が経とうとしています。今後も職員一同、新しい事にも挑戦し邁進していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

## 冬季交流会（つどい）開催！

たくさんの人とふれあい、出会い、笑顔がふえる事を願って……

今年の冬は、例年になく小雪でしたね…とは言え、十日町の冬はやはり厳しい！そんな冬も、元気に過ごしていただきたく、活発に人とふれあう交流会を計画しました。

平成 28 年 1 月 29 日（金）冬季交流会（つどい）を開催しました。午前は、ゲームと職員による二人羽織で楽しみ、午後は、演芸ボランティアのお二人による素晴らしいステージで、盛り上がりました。



詩吟 神風流全国大会 独吟の部 優勝！

長津一男様



NHKのど自慢十日町大会 チャンピオン！

小宮山秀樹様



職員による二人羽織…

熱々のカップラーメンをおもしろおかしく食べてみました。

見ている皆さんは大笑いでした。

箱の中身はな～んだ？！



# 創作活動紹介

身体障がい者福祉センターでは、季節にあった様々な創作活動を行っています。

かわいい

ちんころ制作

十日町の風物詩！  
縁起もの…福よ来い！



幸せを呼ぶ

雪像(雪灯り)

暗くなると、  
あたたかな  
灯りがともり  
とてもきれい  
でしたよ！

雪が…ない…  
さて、どうする？



2016

カレンダー創作

今年はどうなのにしようかな？



今年は、三角形の  
卓上タイプ！裏に  
季節の写真を貼り、  
好きなイラストを  
描きました。



なかなかすてきでしょ！

♪あかひをつけましょ〜♪

ひな祭り創作



かわいい壁飾り  
を作り、雛あられと甘酒をいた  
だきました。  
近づく春にお祝  
いです。





## 教室紹介(書道)

書道教室講師 岩田 武 (香烟)



全国美術展 努力賞  
三輪彰信様作品

身体障がい者福祉センターで、書道講師としてご指導いただいています。  
その他にも市内で明石書道会や松杉会の書道教室の講師をされています。

・新潟県書道協会理事 ・日本書法教育会師範 ・新潟県美術家連盟会員

### 「私の学び」

岩田 香烟

平成12年以來15年の長い間、月曜会の書道を担当させていただいてまいりました。私は、公的な指導資格や経験を持ってはいないのですが、近年ようやく自分の人生と、書の創作概念を重ね合わせて考えられるようになりました。勿論それも稚拙な域を脱しないのですが、僅かでもお手伝いになればと思いつつ、つぎの二つのことに励まされて、この身障者センターで今日まで継続できたと考えています。

一つは、利用者の皆さんの意欲と熱意です。年間3~4回の展覧会参加では、納得いくまで繰り返し繰り返し書き込みます。そしてその成果を心の底から喜んでくださいます。その喜びの表現に、私がもらい泣きしそうになってしまいます。

いま一つは、職員の笑顔と懸命な介助姿勢です。意思疎通がどうしてもうまくいかない時も諦めず、お互いが笑顔になるまで、決して不機嫌を生まず尽くしてくださいます。

生身の人間であれば、永遠に健全であることを望めるわけがありません。やがて私の身体にも異常をきたすときが巡ってきます。私こそが前述の二つのことを見習い学ばせていただきながら、意欲を失わずに、これからも利用者の皆さん、そして職員の皆さんと手を携えながら励んでいきたいものと思っております。

## 写真教室 第三回写真コンテスト開催

写真教室に通う11名の方が、自信の一枚を出品！センター利用者が審査員となり、各賞が決定。3月11日(金)に表彰式が行われました。

金賞



彼岸花「頼りになりそう！」  
「野上忠義様」

銀賞



蟻のぼやき  
「五十嵐勝一様」

銅賞



チヨット 八海山マデ!  
「江村 久様」

どの作品もすばらしく、審査員の皆さんは頭を悩ませながら、一票を投じていました。その結果、上の三点は僅差での受賞です！おめでとうございます。

来年度も色々な場所に出かけ、どんな人、どんな景色に出会えるか楽しみです。

自分にできる事は何か・・・？  
私達は皆さんの応援団です！



機能訓練



写真



手芸



手芸



絵画



写真



折り紙



書道



折り紙

皆さん頑張ってます！

身体障がい者センターでは、障がいをもつ方々の自立した日常生活を支援しています。センターに通う利用者さんは障がい者美術展などで、数々の輝かしい成績を挙げています。更に、作品発表の場を設けることで、一般の人々との心のふれあいにより、障がい福祉への関心を深めていけたらと考えております。